

現場検査チェックシート(特定住宅版) 主な改訂点

木造軸組工法用 現場検査チェックシート(基礎) / 特定住宅版		申込受付番号	住宅保証機構	
事業者情報	12345678 株式会社○○○○	現場検査立会者名	①	
団体検査員番号		現場検査日時	平成 日 時 分	
団体検査員名				
検査項目		適否の判断基準	②	
1 地盤調査	1 地盤調査の実施状況	□ 設計施工基準に基づいて地盤調査が実施されている ・SWSは4隅含めて4箇所以上 又は工学的根拠力 ・適切な地盤調査方法である (※平板載荷試験の単独は不可) □ 現地調査チェックシートが全てA判定のため地盤調査を省略している (戸建木造2階建て相当に限る)	判定	
	2 地盤調査の考察	地盤調査会社等が工学的に考察を行い、地盤補強の要否や基礎の形式等が判断されている		
2 地盤補強	1 地業	地業を実施している		
	2 地盤補強の実施状況	□ 地盤調査結果に基づいた考察において、地盤補強が不要と判断されている □ 考察に基づいて地盤補強工法が選定され、実施されている (工法を以下にチェック) □ 柱状改良 □ 表層改良 □ 小口径鋼管杭 □ 木杭 □ 小口径コンクリート杭 □ その他 ()		
3 基礎	1 基礎の構造	基礎の形式が地盤調査結果等に基づいて選択されている 根入れ深さが告示1347号に適合するように設計、施工されている ・布基礎240mm以上 べた基礎120mm以上		
	2 底盤	布基礎	告示1347号に適合するように設計、施工されている ・厚さ150mm以上 ・地盤の許容応力度に応じた底盤の幅 ・ベース筋の径D10以上、間隔300mm以下	
		べた基礎	配筋根拠が以下のいずれかである □ べた基礎配筋表 □ 構造計算 □ 工学的判断 (告示1347号、スパン表等)	
	3 立上り部分	配筋根拠に基づいて施工されている ・告示1347号 底盤の厚さ120mm以上、鉄筋径D10以上 間隔300mm以下		
	4 別工区の施工状況	告示1347号に適合するように施工されている ・厚さ120mm以上 ・鉄筋径 主筋D13以上、縦筋D10以上、間隔300mm以下 鉄筋の継手 □ 重ね継手 □ その他		
3条確認		□ 無 □ 有 ⇒ 機構整理番号 :		
特記事項				
結果		□ 指摘内容はありません	□ 指摘内容通知書を確認する	
【凡例】 判定欄 [適合:○、不適合:×と記入、該当なし:「/」(斜線)を記入] 確認方法欄 [確認の拠り所を明らかにし、該当する欄にチェックマーク「レ」を記入]				

主な改訂点①：判定欄「未」の記入の廃止

現場検査時に未施工の検査項目は、書類や聴取で施工予定の内容を確認しつつ、判定欄に「未」と記入していましたが、ルールが煩雑であることを一因に誤った運用が散見されたため、判定欄に「未」と記入するルールを廃止いたします。

未施工部分は施工予定の内容を確認し、判定欄には「適否：○ 又は ×」を記入することとします。

主な改訂点②：数値の記入や工法の記録の廃止

現場検査チェックシートの中央にある「施工内容等の記録」欄を「適否の判断基準」欄に変更します。これにより、数値の記入や工法の記録を極力廃止し、原則レ点のみの記入とすることで、団体検査員の負担の軽減を図っております。